

別紙1: 市民意見の要旨と意見に対する福岡市の考え方

○: 原案どおり(意見の趣旨が計画に盛り込んである等により原案の修正がないもの)
 ●: 修正(意見の趣旨に基づき原案を修正するもの)

* 全体を通して

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
1	「ふくおかの教育」が市政だよりと一緒に配布されたが、「読書」に関する取り組みの記載がなく、図書館の記載もない。教育委員会としての学校の読書に対する意識は、その程度のものなのか。この計画を策定しても、教育委員会の重点項目でないのだから、施策が実現されるのは難しいのではないかと。	「新しいふくおかの教育計画」は、「読書活動の充実」を最も重要な取り組みの一つとして位置づけております。 新計画(原案)につきましては、「新しいふくおかの教育計画」の取組みを具体的に推進するため、様々な視点から旧計画を見直しているものであり、新計画に掲げる施策の実現に向け、努力してまいります。	○
2	財政上の措置についての記載が、原案ではとても後ろ向きに読み取れる。財政状況が厳しいのは現実として理解はできるが、読書の意義をもっと理解していただき積極的な言葉を期待したいので、ここまで書かなくてもいいのではないかと。	新計画(原案)は、今後5年間の子どもの読書活動推進に関する基本的な考え方、施策の方向性及び行程を示しておりますが、各施策の実施につきましては、年度ごとの予算編成過程を通じて、事業化していくことが必要なことから、各年度の財政状況や行政改革の要請などの社会環境も踏まえるなど、計画的、かつ、効率的な事業推進に努めることについて、本市が策定する他の計画と同様に明記しているものでありますので、ご理解願います。	○
3	アンケートにおける「読書」の定義を明確にしたらどうか。	「子どもの読書活動に関する意識調査」につきましては、小説や物語、教養書や学術書、ノンフィクション、スポーツや趣味の本、マンガ、新聞など、本の種類を広く設定しており、具体的には9ページに記載のグラフ「好きな本の種類」に挙げております。	○
4	新計画の「基本的な考え」はとても良いと思う。	子どもの読書活動の推進につきましては、新計画(原案)第2章の「新計画の基本的な考え方」に基づき、努力してまいります。	○
5	福岡市の読書活動推進計画がどんどん進んでいることがわかってとてもうれしく思った。ますます活発な活動を期待している。	子どもの読書活動の推進につきましては、旧計画に基づく取組みの成果と課題等を踏まえて策定した新計画(原案)に基づき、今後とも、努力してまいります。	○
6	「読書の効能」をもっと具体的にアピール、啓発した方がいい。	ご提案も参考にしながら、効果的な啓発の推進に努めてまいります。	○
7	読書推進にボランティアの力は必要だが、機能するためには、教育委員会・こども未来局の指導・支援・コーディネート力が必要である。専任者の配置や予算の獲得をお願いしたい。	専任者の配置及びその予算につきましては、各年度の財政状況や行政改革の要請などの社会環境も踏まえ、事業手法の工夫・見直しによる事業費の縮減、既存事業や体制の積極的な見直しに努めるなど、計画的、かつ、効率的な事業推進に努めてまいります。	○
8	計画が実現し、豊かな活動が継続され、「ボランティアまかせ」にならないように学校・図書館共に万全な体制で望める様な長期的ビジョンを示してほしい。	図書館の運営につきましては、計画的、かつ、効率的な事業推進ができるよう体制整備を図ってまいります。 学校図書館の運営につきましては、学校図書館担当者である司書教諭が中心的な役割を担って物的・人的環境を整えるよう、研修会を通じて各学校に体制整備の強化を指導してまいります。	○
9	全体的に、大変立派な計画のように見えるが、ボランティアだより、地域だよりにみえ、行政に積極的で具体的な姿勢が見えない。	新計画(原案)の推進につきましては、「子ども読書活動推進会議」を設置して、進捗状況の把握と検証を行いますとともに、ボランティア活動者なども委員となり、子ども読書活動の実情を行政が共有することで、課題解決に向けた協議を行ってまいります。	○
10	予算が厳しい福岡市だと思うが、将来の福岡市を担う子ども達のための推進計画なので、十分な予算をつけてほしい。	予算につきましては、各年度の財政状況も踏まえ、事業手法の工夫・見直しによる事業費の縮減、既存事業の積極的な見直しに努めるなど、計画的、かつ、効率的な事業推進に努めてまいります。	○

*成果と課題

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
11	A「子どもの成長に応じた…」の課題について、ブックスタートの現在の区毎に違う運営方法等についての検討が必要だということを課題としてとらえてないのか。	ブックスタート事業は4か月児健診の際に実施しており、健診を実施する会場の広さやレイアウト、健診の受診者数、ボランティアの登録人数が区によって異なりますので、各区の状況に応じた形で実施しております。 ご指摘の課題につきましては、乳幼児健診の実施にも配慮しながら、総合図書館とも連携し、改善に努めてまいります。	○
12	ブックスタート事業の意義が伝えられていない。 ブックスタート事業の見直し、再検討が必要である。	今回の「子どもの読書活動に関する意識調査」では、読み聞かせを始めた時期(4～10か月が大幅に増加)など、ブックスタート事業の目的である絵本を通した親子のふれあいが推進されていることが確認できました。しかしながら、ボランティアの登録が少なく、読み聞かせの実演が難しい区もありますので、総合図書館とも連携し、改善に努めてまいります。	○
13	ブックスタートでは遅いので、初めての出産を迎える妊婦さんに子どもの本についての講習の場を設けてほしい。	ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。	○
14	「ブックスタート事業」について、現在、ボランティアで運営されている。「健診のおまけ」でなく、一つの柱として、安定した効果的な事業にしていくため、司書の派遣なども今後期待したい。	4か月児健診の円滑な実施にも配慮しながら、ブックスタート事業の改善に努めてまいりますとともに、今後のブックスタート事業見直しの中で、よりよい図書館の関わり方について検討してまいります。	○
15	「ブックスタート」を楽しみにしていったら、絵本と書類を渡されただけであった。意味も目的も伝わらないので、健診のプログラムに組み込んでほしい。	4か月児健診の円滑な実施にも配慮しながら、ブックスタート事業の改善に努めてまいります。	○
16	「ブックスタート事業」について、ボランティアに頼りすぎている現状を見直し、継続していくためには、現場に人員の配置が必要と考える。	4か月児健診の円滑な実施にも配慮しながら、ブックスタート事業の改善に努めてまいります。	○

*いつでもどこでも自分から読書に親しめる環境の整備

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
17	家庭での読書の定着を図るためには、絵本の購入を補助するべきではないか。	家庭・地域を中心とした読書活動の推進につきましては、「ブックスタート事業に続く施策の検討」を新計画(原案)の重要施策の一つと位置づけており、ブックスタート事業が子どもの読書活動の推進に有効であると考えられることから、その状況を継続させる次の段階の施策として、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。	○
18	学校や公共図書館その他子ども達に本を提供できる施設に、十分な資料費をつけてほしい。	予算につきましては、各年度の財政状況も踏まえ、事業手法の工夫・見直しによる事業費の削減、既存事業の積極的な見直しに努めるなど、計画的、かつ、効率的な事業推進に努めてまいります。	○

*大人も子どもも読書に親しめる機会

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
19	イベントは不要と考える。現行計画の検証を公表してほしい。	「子ども読書フォーラム」につきましては、「福岡市子どもと本の日」などの啓発イベントとして、新計画(原案)では重要施策と位置づけており、全市対象のみでなく、より身近な場所で開催し、回数を増やすことにより、さらに効果的な啓発を推進してまいります。 なお、現行計画(旧計画)の検証とその公表につきましては、新計画(原案)3ページの「3. 現行計画における取組みの成果と課題」において行っているところがありますので、ご理解願います。	○

*子どもの読書活動を支える人材の育成

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
20	ボランティアだけでなく、「専門職員の研修と育成」も加えてほしい。(学校司書, 司書教諭, 児童サービス担当司書)	総合図書館に専門的知識, 能力を有する者を配置し, 各種研修会等への参加により資質の向上に努めており, ご理解願います。 また, 司書教諭をはじめ学校司書につきましては, 学校図書館の活性化や児童生徒の読書活動の推進を図る等の業務遂行能力・資質向上に向け, 研修に取り組んでおります。	○
21	教育委員会やこども未来局で読み聞かせボランティアの認定を行っているのではないかと。	ボランティアの認定につきましては, 17ページ「読書ボランティアとの連携」のなかで, 就学前の子どもをもつ保護者などを対象に活動するボランティアを登録制にし, 身近な地域での活動を紹介したり, また, 登録したボランティアの交流を図るなど検討してまいります。	○
22	学校司書・図書館司書を十分に配置し, 研修を充実させ, ながいスパンでの人材育成をしてほしい。	図書館司書の配置については, 今後の状況等を踏まえ, 適切に行ってまいります。 また, 学校司書の配置につきましては, 平成21年度から30中学校ブロックずつ順次行っておりますとともに, 研修につきましては, 実践研修を含め学校司書のニーズに応じた年5回の研修を行い, 資質向上を図っているところです。	○

*メディアとのよい関係づくり

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
23	「メディアとのよい関係づくり」について, テレビ・ゲームの弊害を持つと告知すべきだ。具体的に科学的なデータを見せるべきだ。	「メディアとのよい関係づくり」につきましては, 子ども期における過剰なメディア接触が子どもの知徳体の発達に悪影響を与えているメディア依存の実態等を踏まえ, 平成23年度から, 新規事業「子どもとメディアのよい関係づくり事業」を開始し, 学習会への講師派遣や講演会の開催などの意識啓発を展開してまいります。	○
24	「共読」より, 「家読」の方がよい。もっとわかりやすい言葉で周知してほしい。	「共読」につきましては, 家族, 友達, 先生など複数の人と本を「共に読む」ことを表現する言葉であり, 新計画(原案)では, 「共読」の推進を基本目標に掲げておりますので, ご理解願います。	○

*家庭・地域での読書活動について

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
25	ブックスタートは, ただ本をあげるだけでなく親に本を選ばせたり, 参加させたりした方がよいと思う。	ブックスタート事業では, 読み聞かせに興味がない保護者にも幅広く働きかけるため, 4か月児健診の際にお薦めの絵本を配布するとともに, 読み聞かせの実演等を行っております。	○
26	現在の子育ては, 親育てもするべき。本当に心を育てるべきは, 親である。子の読書＝親の読書。親にもっと絵本の楽しさを知ってほしい。	公民館事業の中で, 保護者向けの絵本の読み聞かせに関する事業を行っており, 今後も子どもに絵本の魅力を伝えることができるよう保護者向けの事業に取り組んでまいります。 また, 子どもの読書活動の推進には, 保護者の読書に対する理解が大切であると認識しており, 保護者の読書に対する理解が深まるよう, ブックスタート事業や子どもプラザにおける読み聞かせなどに取り組んでまいります。 さらに, 17～18ページに記載しております重要施策「読書ボランティアとの連携」や「子ども読書フォーラムの拡充」など経験豊かなボランティア等と共働して, 子どもと保護者が共に読書を楽しむ機会を増やし, また, 「福岡市子どもと本の日」「共読」の推進などの啓発を深く浸透させる方法を今後検討してまいります。	○

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
27	「読書ボランティアとの連携」はぜひ実現してほしい。研修や交流の場も設定してほしい。	読書ボランティアとの連携につきましては、新計画(原案)の新規重要施策と位置づけており、具体的な連携のあり方については、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。	○
28	「読書ボランティア活用方法の検討」とあるが、言葉に違和感があるので、「活用」という使い方はさけてほしい。	ご指摘の「読書ボランティア活用方法の検討」の表現につきましては、「読書ボランティアとの連携のあり方検討」と改めております。	●
29	ボランティアの意識を高め、同じ目標に向かって活動するためには、ボランティアの研修が必要である。	読書ボランティアとの連携につきましては、新計画(原案)の新規重要施策と位置づけており、具体的な連携のあり方については、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。	○
30	「ブックセカンド」施策はすばらしい。	ブックスタート事業に続く施策の検討につきましては、新計画(原案)の重要施策と位置づけており、ブックスタート事業が子どもの読書活動の推進に有効であると考えられることから、その状況を継続させる次の段階の施策として、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。	○
31	「ブックセカンド」について、小学校低学年～中学年向けのブックリストや図書館利用案内等を配布したらどうか。	ブックスタート事業に続く施策の検討につきましては、新計画(原案)の重要施策と位置づけており、ブックスタート事業が子どもの読書活動の推進に有効であると考えられることから、その状況を継続させる次の段階の施策として、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。	○
32	「ブックスタート」を楽しみにしていいたら、絵本と書類を渡されただけであった。意味も目的も伝わらないので、健診のプログラムに組み込んでほしい。	4か月児健診の円滑な実施にも配慮しながら、ブックスタート事業の改善に努めてまいります。	○
33	ボランティアの協力は重要だと思うが、ボランティア任せになっている状況があるので、上手にコーディネートしてほしい。ボランティアの研修の機会を多くしてほしい。	読書ボランティアとの連携につきましては、新計画(原案)の新規重要施策と位置づけており、具体的な連携のあり方については、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。	○
34	公民館の書架コーナーは、傷んでいる本が多く、子育てサロンでも図書室の案内がなかった。こまめな買い換えとPRをしてほしい。	公民館の図書につきましては、限られた予算の中で蔵書数を確保するため、図書館で貸し出し、閲覧等の役割を終えた図書の有効利用などの取り組みを進めてまいりますので、ご理解願います。 公民館によって蔵書数が異なるため、一律的なPRは困難ですが、公民館だより等を通じ、購入図書のPR等を行うよう指導してまいります。	○
35	「ブックセカンド」の延長の対策も検討してほしい。	ブックスタート事業に続く施策の検討につきましては、新計画(原案)の新規重要施策と位置づけており、ブックスタート事業が子どもの読書活動の推進に有効であると考えられることから、その状況を継続させる次の段階の施策として、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。	○
36	ボランティアを募集する。(特に子育てを終了した高齢者に)	読書ボランティアとの連携につきましては、新計画(原案)の新規重要施策と位置づけており、具体的な連携のあり方については、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。	○
37	保育園、幼稚園に大型絵本や紙芝居を貸し出しやボランティアの派遣をしたら良い。	文庫活動を支援するため、団体貸出において、大型絵本、紙芝居、パネルシアター等の文庫用品の貸出を実施しております。 また、読書ボランティアとの連携につきましては、新計画(原案)の新規重要施策と位置づけており、具体的な連携のあり方については、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。	○

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
38	予算があれば、保育園、幼稚園に絵本を贈与したらよい。	公立保育所におきましては、絵本の購入に関しては、各保育所において、予算の中から計画的に行っているところであります。なお、総合図書館の団体貸出等を利用し、各保育所の絵本コーナーの充実に努めております。 また、市立幼稚園におきましては、各園において、園予算の中から少しずつ絵本を購入している状況でございます。	○
39	保育園、幼稚園に絵本教育のアンケートをつくり、絵本の数や、読み聞かせの回数を調査したらよい。	公立保育所におきましては、平成18年度より、親子対象お話し会の実施回数と参加延人数、保育所での絵本貸出状況(実施回数・貸出延冊数)、総合図書館団体貸出の利用状況を調査しており、民間保育園における読み聞かせ等の実態把握については、今後検討してまいります。 また、市立幼稚園につきましては、幼児の主体的な活動を促すよう教育活動にあわせて、毎日読み聞かせをしております。絵本の数につきましては、蔵書台帳等作成しておりませんので、数の把握は難しいところでございます。	○
40	「ブックスタートに続く施策」について、チラシを配布するだけでなく、新入生に理解できるような学校図書館の案内を配るなどもっと具体的な案であってほしい。	「ブックセカンド」につきましては、保護者への啓発を目的とした「ブックスタート事業」の継続事業と考えております。内容につきましては、今後、検討してまいります。	○
41	「ボランティアとの連携」について、新たにボランティアをしようとするグループに支援ができるといい。登録制にし、交流できる仕組みがあると良い。	読書ボランティアとの連携につきましては、新計画(原案)の新規重要施策と位置づけており、具体的な連携のあり方については、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。	○
42	「ブックスタートに続く施策」について、チラシを配布するだけでは伝わらない。保護者に子どもに本を読んであげると喜ぶということを実感させなければならない。	ブックスタート事業に続く施策の検討につきましては、新計画(原案)の新規重要施策と位置づけており、ブックスタート事業が子どもの読書活動の推進に有効であると考えられることから、その状況を継続させる次の段階の施策として、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。	○
43	「ブックセカンド」施策は良いが、実施の時期を10ヶ月や1歳半健診の頃でも良いのではないか。	ブックスタート事業に続く施策の検討につきましては、新計画(原案)の新規重要施策と位置づけており、ブックスタート事業が子どもの読書活動の推進に有効であると考えられることから、その状況を継続させる次の段階の施策として、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。	○
44	福岡市にある保育士養成校の学生に対し、養成校の教員経由でボランティアを募集したらどうか。	保育所におきましては、毎年、保育士養成校より実習生を迎え入れ、保育士としての専門性や資質を高めるための実習を行っており、その実習の中では、乳幼児の心を育てる上で欠かすことのできない「読み聞かせ」も含まれており、絵本を通した乳幼児とのふれ合いの重要性等についても学習しております。	○

* 学校での読書活動について

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
45	文部科学省「これからの国語教育のあり方について」(平成15年2月)の中にある「話す・聴く・読む・書く」の4能力は、具体的で、わかりやすく使いやすいので、これを計画の指針の参考として活用可能ではないか。	文部科学省がこの報告書で示した4能力等の考え方は、新学習指導要領に引き継がれ、「言語活動の充実」としてすべての教科等に位置づけられており、学校における読書活動につきましては、この新学習指導要領をふまえて作成しているところです。	○

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
46	第2章 3「II 学校における読書活動を推進します」及び「重要施策」は、小・中学校を重視し、主眼をおいた計画・施策のように受け止められる。読書教育最後の教育機関としての高校生を対象とした取り組みにも言及していただきたい。	各市立高校におきましては、司書教諭や学校図書館担当教員、学校司書、生徒会図書委員会などが中心になり、図書館だよりの作成、ディスプレイの工夫、手づくりしおりの配布など、生徒が親しみやすく利用しやすい学校図書館づくりを進めており、今後とも、読書活動の一層の推進を図ってまいりますことから、高校における取り組みにつきまして、新計画(原案)に追記しております。 なお、「重要施策」に掲げている「学校司書の配置」「学校図書館のデータベース化」につきましては、市立高校では、現在、実施しているところでございます。	●
47	「学校における読書活動を推進します」の本文中に読書ボランティアに何を求めるのかを明記していただきたい。	読書ボランティアの役割につきましては、司書教諭や学校司書と連携して、子どもに読み聞かせをしたり、図書の整備をするなど読書活動の推進を図っていることを検討してまいります。	○
48	学校図書館の利用方法を徹底して子どもに教えてほしい。	学校図書館の利用方法につきましては、各学校におきまして、年度初めに利用指導を行うよう指導してまいります。	○
49	学校図書館に、子どもからのリクエスト・予約制度の導入はできないか。	学校図書館の本の貸し出しにつきましては、各学校にて創意工夫しており、今後、子どものニーズにこたえられるようさらに検討してまいります。	○
50	修理できない本や古い本が多い。	学校図書館の本につきましては、司書教諭を中心に、蔵書点検・管理を行っております。本の利用指導を徹底するとともに、子どものニーズを把握した本の購入計画を立て、子どもたちが読みたい本をスムーズに貸し出しできるように努めてまいります。	○
51	学校図書館ボランティアには、区毎の交流会が必要である。行政側が場の設定をしてほしい。	「みんなのために自分にできること」というボランティアの原則や、各区の状況等をふまえ、検討していきたいと考えています。	○
52	学校教育の中で読書ボランティアの活用をどう位置づけるかが課題である。	学校により教育課程・児童生徒の実態・それによるニーズが異なるため、学校の経営方針を十分に踏まえ、学校と連携して活動していただきたいと考えております。	○
53	保護者に対し読書に関心を持ってもらうために、学校で保護者向けの本を紹介するなどしてほしいので、学校図書館に教諭用の図書も充実してほしい。	教諭用の図書につきましては、職員室に整備している学校が多数ございます。また、保護者に対し読書に関心をもってもらうことにつきましては、大変重要なことと考えており、今後、各学校におきましても、PTAと協力して保護者向けの本の紹介等にも取り組んでいけるよう検討してまいります。	○
54	学級文庫についての記載をしてはどうか。	学級文庫につきましては、校長の判断に基づき、各学校によって取組方法が違っており、学級文庫の記載は難しいところでございます。	○
55	教育委員会学校担当者、学校管理運営者は、学校現場の現状を把握しているのか。取り組み方が学校によって差がある。	学校図書館につきましては、学校図書館担当者研修会や学校司書研修会の際に情報交換をしたり、年に1～2回学校へのアンケート調査を行い、現状把握に努めているところです。今後、調査結果も提示しながら、各学校における学校図書館の活性化および児童生徒の読書活動の推進を図るよう、指導してまいります。	○
56	学校・教育委員会と共に、ボランティアのガイドラインを作成し、人材活用、地域に開かれた教育現場としての意識と認識を持ってほしい。	現在、学校図書館ボランティアとして活動される方のための「4つのポイント」を作成しており、学校の担当者を対象とした研修会でも配布・説明し、ボランティアの皆様との連携が図れるよう努めております。	○
57	ボランティアも教育の一端に携わる自覚と責任を研修で繰り返し学ぶ必要がある。研修に関わる費用に、財政面での支援を渋っては行けないと思う。	現在、多くのボランティアが、地域の公民館や学校図書館を活用して交流をされており、また、ボランティアの学習支援につきましては、現在ではインターネットで他の自治体のボランティアのHPから、おすすめの本等を検索することが可能です。	○
58	学校図書館の蔵書冊数に神経質にならないでほしい。本を、払い出した方が子どもは利用する。	学校図書館の蔵書冊数につきましては、文部科学省が「学校図書館図書標準」を設定しており、学校図書の充実度合を示す指標のひとつと考えております。	○

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
59	小学校の先生や司書教諭を初めとする先生に「子どもの読書の大切さ」を理解させる研修が必要である。	「子どもの読書の大切さ」を理解する研修につきましては、毎年行っており、今後、さらに研修内容を充実させ、各学校において子どもの読書活動が充実していくよう、努めてまいります。	○
60	21ページ「図書の整備」について、新しい図書の購入について検討してほしい。	毎年、学校には図書整備にかかる予算を配分しており、新しい図書も計画的に購入しております。	○
61	子どもの読書量は、読み上げ冊数や買い出し冊数で判断されるが、読んだ本の内容を加味する評価方法はないのか。	子どもの読書量につきましては、現在のところ貸出冊数・読み上げ冊数で調査しております。今後の読書量調査の方法につきましては検討してまいります。	○
62	良い本を選べるようにするためには、サポートする人が必要である。司書の配置が必要であるが、無理ならば、しっかりした研修を受けたボランティアでよいから置いてほしい。	現在、学校図書館ボランティアとして活動されている皆様は、学校や公民館等で情報交換を行ったり、インターネットでおすすめの本を検索したり、学校の司書教諭や総合図書館の司書の方に相談したりして、子どもたちにとってより良い本を考えているものと認識しております。	○
63	図書館にある本が少なすぎる。	学校図書館の本につきましては、「学校図書標準」に基づき、各学校で計画的な図書の整備に努めているところです。	○
64	「学校図書館のデータベース化」について、時間も予算もかかると思うが、ぜひ推進すべき。将来は、総合図書館とネットワーク化し、データの共有をしてほしい。	平成22年度末時点ではほぼ全ての市立学校図書館蔵書のデータ化が完了しており、各校での図書管理システムの導入も進行中です。また、総合図書館とのネットワーク化については、費用面や技術等の点で課題があるため、他都市の状況等も確認しながら検討を進めてまいります。	○

*学校司書について

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
65	学校司書を常駐にしてほしい。	今後、学校司書の配置効果の検証を行い、各学校の実態に応じた学校司書の効果的な配置に努めてまいります。	○
66	「政策推進プラン」及び「新しいふくおかの教育計画」の中で、「学校司書の配置」について重要な施策としていたにもかかわらず、高校の現場では、学校司書の配置に制約が付いたため、その「成果」が高等学校の場合には見受けられず、実現可能な施策を盛り込む必要がある。第2章 3「II 学校における読書活動を推進します」の中に記載された「成果と課題を十分に検証し、効果的な配置に努めていきます」について、現行計画5年間に後退した原因を解明し、高校の図書館教育の緊急施策として取り組む必要があることを明記していただきたい。	学校図書館法におきましては、司書教諭が学校図書館の専門的職務を行うこととされており、市立高校におきましても、司書教諭を中心として、学校司書、その他の教職員が連携協力することにより、組織的な学校図書館運営を行い、読書活動を推進していくこととしております。 なお、市立高校につきましては、各校1名、計4名の専任の学校司書(非常勤嘱託員)を配置しているところでございます。	○
67	高校の学校司書の引き下げが行われている現実がある。高校の学校司書の引き下げ後の成果があればその成果と、課題を検証するよう計画に盛り込み、引き上げに向けて推進してほしい。		○
68	「学校における読書活動を推進します」の本文中に学校司書の役割も述べてほしい。	学校司書の役割につきましては、P18の上から2行目に「学校図書館の環境整備や読み聞かせ等の読書指導を行っています。」との記述でふれております。	○
69	ボランティアが書架整理等やっているが、もし、いなくなる場合には、必ず司書が必要となる。	学校図書館の書架整理等につきましては、本来、司書教諭が中心となって学校図書館の運営にあたっていくこととなっております。各学校の図書館運営のあり方につきましては、研修の機会をとらえ、再度各学校に指導してまいります。	○
70	司書教諭の学校図書館への関わりなどについての調査をしているのか。	司書教諭のかかわりを含め、学校図書館に関する調査は、毎年10～11月に各学校に行っております。	○

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
71	教育の機会均等の観点から、学校司書のいない学校の子どものことはどうするか。	学校司書の配置につきましては、平成21年度から30中学校ブロックずつ順次行っております。平成26年度までには全小中学校に2年間ずつ配置する計画で進んでいるところです。	○
72	「効果的な配置」というあいまいな表現でなく増員したいという強い意志を示してほしい。	今後、学校司書新規配置校及び配置終了校の配置効果の検証を行い、学校の実情に応じた学校司書の効果的な配置に努めてまいります。	○
73	学校司書を全校配置にしてほしい。	学校司書の配置につきましては、学校司書新規配置校および配置終了校の配置効果の検証を行い、学校の実情に応じた学校司書の効果的な配置に努めてまいります。	○
74	学校司書が去った後の学校図書館の状況を公表してほしい。	学校司書の配置終了校につきましては、今後、配置後の状況を調査し、効果的な配置に向けて検証してまいります。	○
75	本計画が18歳までを対象としているにもかかわらず、市立高校司書は、22年4月に実習助手から嘱託員となり、生徒に対応できなくなっている。現状は、逆行している。 市立高校司書を正規職員の配置としてほしい。	学校教育法上、実習助手の職務は、実験、実習の補助業務とされていることから、学校図書館担当の実習助手は21年度で廃止いたしました。22年度からは、学校司書として新たに非常勤嘱託員の職を設置し、配置しております。 また、学校図書館法におきましては、司書教諭が学校図書館の専門的職務を行うこととされており、市立高校におきましても、司書教諭を中心として、学校司書、その他の教職員が連携協力することにより、組織的な学校図書館運営を行い、読書活動を推進していくこととしております。	○
76	司書教諭が図書館に関わる時間の確保や学校司書の配置など学校図書館が機能するためのスタッフが必要である。	学校図書館につきましては、司書教諭が中心的な役割を担って、人的・物的環境を整え、学校司書や読書ボランティア、図書委員会の児童生徒とともに協力して運営していくよう、各学校に指導してまいります。	○
77	「学校司書の効果的な配置の実施」をぜひ実現してほしい。学校司書の存在は大きい。	学校司書の配置につきましては、学校司書新規配置校および配置終了校の配置効果の検証を行い、学校の実情に応じた学校司書の効果的な配置に努めてまいります。	○
78	学校司書の専任化をしてほしい。	学校司書の配置につきましては、学校司書新規配置校および配置終了校の配置効果の検証を行い、学校の実情に応じた学校司書の効果的な配置に努めてまいります。	○
79	学校司書を全小学校に1名ずつ配置してほしい。	学校司書の配置につきましては、学校司書新規配置校および配置終了校の配置効果の検証を行い、学校の実情に応じた学校司書の効果的な配置に努めてまいります。	○
80	司書教諭を専任にしてほしい。	学校図書館担当の司書教諭につきましては、学校図書館の活性化に向けて、授業時間の軽減等を各学校長に依頼し、関わりを増やしていくことを考えております。	○
81	学校図書館の活用がますます増えるのだから、学校図書館は、司書教諭と学校司書で運営しなければ、十分に役割を果たせない。	学校図書館につきましては、司書教諭が中心的な役割を担って、人的・物的環境を整え、学校司書や読書ボランティア、図書委員会の児童生徒とともに協力して運営していくよう、各学校に指導してまいります。	○
82	小学校の図書委員会の活動に、図書担当の先生や司書教諭にもっと関わってほしい。	図書委員会の活動につきましては、図書館担当者や委員会担当者が中心に関わっているところです。関わり方につきましては、さらに充実するよう、研修会等を通じて指導してまいります。	○
83	全校配置になるまでの間は、現在の学校司書のうちの数名を全校巡回できる短いサイクルにした方がいい。	学校司書の配置につきましては、学校司書新規配置校および配置終了校の配置効果の検証を行い、学校の実情に応じた学校司書の効果的な配置に努めてまいります。	○

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
84	学校司書を30名に増員させたことは、評価できるが、学校数に対して、少なすぎる。今後、学校司書の数をどう充実させるのかを盛り込んでほしい。	学校司書の配置につきましては、学校司書新規配置校および配置終了校の配置効果の検証を行い、学校の実情に応じた学校司書の効果的な配置に努めてまいります。	○
85	16ページ「中心的な役割を担って物的・人的環境を整え」と書いてあるが、司書教諭は多忙であり、そうは思えない。司書教諭の役割を明記してほしい。	学校図書館につきましては、P16に記述しておりますように、学校図書館法によって、司書教諭が運営・活用について中心的な役割を担うようになっております。司書教諭が十分その役目を果たしていけるよう、授業時間の軽減等各学校長に依頼しているところです。	○
86	学校司書は、足りていないので、全校配置は難しいにしても増員を推進していくべきだ。	学校司書の配置につきましては、学校司書新規配置校および配置終了校の配置効果の検証を行い、学校の実情に応じた学校司書の効果的な配置に努めてまいります。	○
87	「学校司書の効果的な配置」について、言葉では、進んでいるようだが、学校司書の立場がよく見えない。責任を持って学校図書館を運営できるよう非正規等ではなく、安定した立場での配置が良い。	学校図書館につきましては、司書教諭が中心的な役割を担って、人的・物的環境を整え、学校司書や読書ボランティア、図書委員会の児童生徒とともに協力して運営していくよう、各学校に指導してまいります。	○

*図書館での読書活動について

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
88	「図書館を拠点とした読書活動を推進します」の本文中「展示図書」を「点字図書」に修正してほしい。	ご指摘のとおり改めております。	●
89	「図書館を拠点とした読書活動を推進します」の「本計画では・・・」のところに「人(児童サービスの専門職)の充実の推進」も加えてほしい。	総合図書館に専門的知識、能力を有する者を配置し、各種研修会等への参加により資質の向上に努めており、ご理解願います。	○
90	東区から総合図書館に行くのにお金がかかりすぎる。東区方面に総合図書館らしい図書館ができることを望む。	今のところ東区方面に総合図書館規模の図書館を建設する予定はございません。 なお、図書館ホームページから総合図書館・各分館・アミカス図書室の本も検索・予約できます(リクエストカードや電話での予約も可能)。また、総合図書館・各分館・アミカス図書室で貸出・返却ができます。	○
91	第3回策定委員会の素案にあった「身近な公共施設で予約本の受取・返却サービス」がなくなっているのはなぜか。	平成22年8月に地下鉄2駅、情報プラザに返却ポストの設置を行いました。また、平成23年度より宅配サービスを開始する予定です。それらの状況を踏まえ、今後のサービス拡充に向け検討してまいります。	○
92	公共図書館をもっと市民にPRし、図書館へ目を向けさせてほしい。	図書館の広報につきましては、市政日より、ホームページ、ポスター・チラシの配布、館内掲示板PRに努めております。今後とも充実に努めてまいります。	○
93	公共図書館は、子ども読書活動推進計画の核となる機関である。図書館ビジョンを示してほしい。	総合図書館では、平成8年開館時の基本方針により、利用者サービスの向上に努めておりますが、15年を経過し、市民ニーズの多様化など社会情勢の変化により、基本方針の見直しや長期運営計画を策定する必要があると考えております。	○
94	日本図書館年鑑など、公に提出する図書館の実質奉仕人口を公表してほしい。	日本図書館年鑑における奉仕人口は、住民基本台帳に基づく人口となっております。	○
95	分館において、図書館がより親しめる努力をしてほしい。	ご意見と同じ考えに基づき、本計画のとおり誰もが利用しやすい図書館を目指します。	○
96	司書の増員を強く・早急に望む。	図書館司書の配置につきましては、今後の状況等を踏まえ、適切に行ってまいります。	○
97	図書館利用者懇談会の設置し、時期を違えて実施してほしい。	総合図書館では、地域において文庫活動を行っている方々との交流会を定期的に開催しております。今後拡充に向けて検討してまいります。	○

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
98	地域で日常的に行われている図書館のおはなし会などをこまめに情報発信してほしい。	図書館の広報につきましては、市政だより、ホームページ、ポスター・チラシの配布、館内掲示等PRに努めております。今後とも充実に努めてまいります。	○
99	現在の中高等教育では、読書(資料の検索、調査)をして、報告書(レポート)にまとめるという教育が不十分である。 公共図書館の役割として、資料検索や論文・レポート作成といった広い意味での読書活動・図書館運用法を提供する必要があると考える。	ご意見のとおり、図書館の役割や支援サービス等を広く広報する必要があると考えております。	○
100	「学校図書館への団体貸出」は、とてもよいと思う。ぜひやってほしい。	ご意見と同じ考えに基づき、本計画を策定し、着実に実施してまいります。	○
101	図書館には、「読書相談員」がいる。もっと、目立つようにバッチをつけたり、ポスターをつくったりしてPRした方がいい。相談しやすくなる。	ご意見と同じ考えに基づき、本計画のとおり誰もが利用しやすい図書館を目指してまいります。 また、今後ともPRに努めてまいります。	○
102	長期休暇などを利用して、総合図書館で小学生の図書委員の交流会や講習会、見学会などを実施したらどうか。	実施の可否について検討してまいります。	○
103	「中・高校生へのサービスの充実」が入ったことをうれしく思う。学校図書館とも連携してほしい。	「中・高校生へのサービスの充実」は、「ヤングアダルトへのサービスの充実」に変更いたしました。 ご意見のとおり、図書館を拠点とした読書活動の推進に努めてまいります。	○
104	新しい図書館を増設してほしい。	図書館の整備につきましては、市民のニーズに応えるため、福岡市新・基本計画で基本的方向を示し、政策推進プランで「図書館分館化事業」について定め、地域交流センターの整備にあわせて行っており、今後とも、図書館のあり方など十分に検討してまいります。	○
105	4ページに「近くに図書館がない」ことが図書館利用の妨げの理由として明確なのに、「図書館の充実」がないのはなぜか。		○
106	図書館で行うおはなし会をもっとアピールできる機会がほしい。	図書館の広報につきましては、市政だより、ホームページ、ポスター・チラシの配布、館内掲示等PRに努めております。今後とも充実に努めてまいります。	○
107	「学校図書館への団体貸出」は、利用者の意見を反映されたものになってほしい。	ご意見のとおり、図書館の現状を踏まえ、計画のよりよい実現を図ってまいります。	○
108	「中・高校生へのサービスの充実」として、きちんと選書したブックリストを出してほしい。	「中・高校生へのサービスの充実」は、「ヤングアダルトへのサービスの充実」に変更いたしました。 ご意見を踏まえ、図書館を拠点とした読書活動の推進に努めてまいります。	○
109	小学生向けに、きちんと選書したブックリストを出してほしい。	図書館では、小学生向けに初級、中級、上級に分けた「モデル児童図書目録」を作成・配布しております。現在、上級の改訂を行っており、平成24年発行に向け作業を行っております。	○
110	地域にある図書館に行きたいと思わない。(中が暗く、本が古いなど)	ご意見につきましては今後の参考にさせていただきます。	○
111	子どもにどんな図書館なら本を読みたいと思うかを質問するべき。	ご意見につきましては今後の参考にさせていただきます。	○
112	絵本のリサイクルをしてはどうか。 不要の絵本を図書館に持ってきてもらい、ご自由にもちかえりくださいコーナーを作る。	図書館では、不要になった本で、まだ図書利用に供することができる本については、譲渡会等を開催し、公民館やボランティア団体に譲渡するなど、有効活用に努めております。	○
113	0歳～5歳までの年齢別の推薦本の紹介リストを作成する。	図書館では、幼児向けの「モデル児童図書目録」を作成・配布しております。	○
114	絵本コーナーに、子どもが興味を引くようにおとぎの国や、お菓子の家をモチーフとした絵本の部屋を作る。	施設内に部屋を新設するのは困難です。いただいたご意見を参考に、今後子どもの興味を引きつける方法を検討してまいります。	○

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
115	課題として、近くに図書館がないことがあげられていることから、平等に図書館が利用できる工夫が必要である。図書館を増やすこと、公民館・学校などに本を届けるなど、図書館から利用者に近づいていくことが必要。	分館の整備につきましては、地域交流センターの整備にあわせて行っております。 また、公民館などでの貸出予約・返却業務のシステム化につきましては、現在、考えておりませんが、総合図書館と各分館等との間に毎日連絡車を運行するとともに、配本車による団体貸出の拡大など図書館サービスに努めております。 さらに、総合図書館では、団体貸出部門を設置し、公民館、学校等に図書配本を行っており、今後、より拡充を図ってまいります。	○
116	「中・高校生へのサービスの充実」について、中・高校生のためにとやってもわからないので、もっと宣伝が必要。中・高校生に限定せず、すべての12～18歳までの子どもを対象にヤングアダルトサービスをするべき。	表現を修正しております。	●

*連携について

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方	
117	学校での無駄なセット本購入をさけるために、公共図書館から学校図書館へ、毎年「お勧めブックリスト」を提供してほしい。	図書館の発行するブックリストとして「モデル児童図書目録」がございます。ご意見のとおり、図書館の現状を踏まえ、計画のよりよい実現を図ってまいります。	○
118	公共図書館員を学校に派遣し、学校司書・司書教諭との協働を実現してほしい。	現状において図書館員の派遣は困難です。しかしながら、学校司書・司書教諭との協働は必要なことであり、代替手段を今後検討してまいります。	○
119	「子ども読書フォーラムの拡充」は、楽しみだ。これまでのフォーラムのようにいろいろな人が協力し合う取り組みは、継続してほしい。	「子ども読書フォーラム」につきましては、「福岡市子どもと本の日」などの啓発イベントとして、新計画(原案)では重要施策と位置づけており、全市対象のみでなく、より身近な場所で開催し、回数を増やすことにより、さらに効果的な啓発を推進してまいります。 なお、具体的な内容につきましては、事業の拡充を進める中で、今後検討してまいります。	○
120	「子ども読書フォーラムの拡充」については、身近な場所とは、どこなのか。具体的に示してほしい。	「子ども読書フォーラム」につきましては、「福岡市子どもと本の日」などの啓発イベントとして、新計画(原案)では重要施策と位置づけており、全市対象のみでなく、より身近な場所で開催し、回数を増やすことにより、さらに効果的な啓発を推進してまいります。 なお、「より身近な場所」につきましては、市民センターや地域交流センターなどを想定しておりますが、具体的な内容につきましては、事業の拡充を進める中で、今後検討してまいります。	○
121	「子ども読書フォーラムの拡充」は、ぜひ、複数回開催してほしい。小・中学生のよみきかせが、よかったので、もっと増やしてほしい。	「子ども読書フォーラム」につきましては、「福岡市子どもと本の日」などの啓発イベントとして、新計画(原案)では重要施策と位置づけており、全市対象のみでなく、より身近な場所で開催し、回数を増やすことにより、さらに効果的な啓発を推進してまいります。 なお、具体的な内容につきましては、事業の拡充を進める中で、今後検討してまいります。	○

*重要施策について

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方
122	表中「担当部局等」を詳しく載せてほしい。	担当局等につきましては、新計画(原案)の期間中において、機構整備などにより今後変更となる場合が想定されることから、局レベルの表記にとどめておりますので、ご理解願います。
123	年度ごとの目標を詳細に設定してほしい。	学校司書の配置の目標設定につきましては、現在、2年間で配置期間としており、その成果と課題を踏まえて、次の方針を策定していることから、年度ごとの目標設定は難しいところでございます。 新計画(原案)は、今後5年間の子どもの読書活動推進に関する基本的な考え方、施策の方向性及び行程を示しておりますが、各施策の実施につきましては、年度毎の予算編成過程を通じて、事業化していくことが必要なことから、各年度の財政状況や行政改革の要請などの社会環境も踏まえるなど、計画的、かつ、効率的な事業推進に努めてまいりますので、ご理解願います。 なお、図書館の年度ごとの目標は記載のとおりです。
124	5年ごとの振り返りでなく、途中でも計画の見直し、修正を行ってほしい。	新計画(原案)の推進につきましては、「子ども読書活動推進会議」を設置して、進捗状況の把握と検証を行いますとともに、ボランティア活動者なども委員となり、子ども読書活動の実情を行政が共有することで、課題解決に向けた協議を行ってまいります。

*計画推進のための体制について

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方
125	「子ども読書活動推進会議」において、進捗状況の把握と検証をしっかりとやっていただきたい。	新計画(原案)の推進につきましては、「子ども読書活動推進会議」を設置して、進捗状況の把握と検証に努めてまいります。
126	図書館が図書館本来の機能を発揮できる体制作りを強く要望する。特に、本館である総合図書館を中心としたすべての図書館職員に、図書館の使命や役割の研修をしてほしい。	総合図書館の研修は全体研修や職場毎の研修を行い、スキルアップを図っております。
127	図書館運営審議会の役割・人選を開示し、公募枠をお願いしたい。	福岡市総合図書館運営審議会の委員につきましては、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験を有する者のうちから教育委員会が委嘱しており、社会教育の関係者には児童生徒の保護者であるPTA協議会の役員の方にご就任いただいております。 公募枠については今後検討してまいります。
128	生涯学習課に司書資格を有する職員をということだが、有資格の正規職員の配置を希望する。	「子ども読書活動推進会議」の事務局であり、読書ボランティアとの連携などを実施していく生涯学習課につきましては、子ども読書活動推進のための体制強化を図る必要があるため、ご提案も参考にしながら、今後検討してまいります。

*その他の意見

項目番号	意見の要旨	意見に対する福岡市の考え方
129	図書館や学校、公民館などで、「ブックシェア」(読み終わった本の交換)をしたらどうか。	図書館では、不要になった本で、まだ図書利用に供することができる本については、譲渡会等を開催し、公民館やボランティア団体に譲渡するなど、有効活用に努めております。 また、本の有効活用につきましては、今後、よりよい方法を検討してまいります。